

CIEC 会員のみなさまへ

CIEC 団体会員理事でもあります全国大学生生活協同組合連合会より下記のように被災した学生の学業継続を支援する募金についてのお願いがございました。

ご協力ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

被災した学生の学業継続を支援する募金にご協力ください

東日本大震災を受けて、私たちは各大学生協と相談し、4月から「震災でご父母等を亡くされた大学生に3万円のお見舞い金をおくる」というとりくみを始め、すでに全国で数十人の方にお見舞金をお渡ししていています。また、「万一の事態に備え全国の大学生で共済掛金を出し合い、扶養者が事故で亡くなった方に卒業予定年まで毎月10万円の共済金をおくる」等の共済事業を行っていて、5月上旬時点ですでに全国で数十人の方から申請がありました。

これらを行う中で、私たちは、被災した学生から、「実家が津波等により全壊し、父母も収入の道を絶たれたため（あるいは父母が亡くなったため）、このままだと学業を継続できず退学せざるを得ないかもしれない」という相談を多数受けています。さまざま悲しい出来事がありますが、震災により学業を続けられないという事態もその一つです。退学せざるを得ない方を、一人でも減らしたいと願っています。

大学生協がある大学の学生で、震災により自宅（実家）が全壊した方はおよそ3000人前後、ご父母が亡くなった方は数百人前後おいでだと考えられます。これらの方々の学業継続のために、すでに大学ごとに授業料の軽減・免除等も行われていますが、それに加えて、所属する大学の生協から被災した学生に「全国の大学生協の組合員やその家族からの気持ちです」としてお見舞金をおおくりしたいと思います。各生協と5月はじめに相談し、「総額で1億円近い費用が必要になるかもしれないが、全国の生協組合員やご家族に呼びかければきっと集まるから、まず被災学生にお見舞金をお渡ししよう」と決めました。ついては、状況が許せば、被災した学生の学業継続を支援する募金にご協力いただけないでしょうか。

いただいた募金は、次の使途に使います。

- ご父母（父母以外の方が主たる生計維持者であるときはその方も）が震災により亡くなった方（大学生協の学生組合員）に、お一人3万円をおくるため
- 主たる生計維持者の方がお住まいだった家が全壊した方（大学生協の学生組合員）に、お一人3万円をおくるため

※ もし募金の方が多く集まった場合は、差額を「全壊だけでなく大規模損壊・半壊等の場合にも対象を広げる」等に使うか、日本赤十字社を通じて被災した方々に分配することがあります。また、募金や被災者支援の事務に要する費用はすべて各生協が負担します。募金を事務処理のために使うことはありません。

ご協力いただけるときは次の口座にお振込みください。お名前の前に「シーク」とご記入いただければ、CIEC分として集計させていただきます。

口座名義：大学生協震災義援金

口座番号：りそな銀行新都心営業部 普通 3267738

※ りそな銀行及び埼玉りそな銀行からの振込は、振込手数料が無料となります。同銀行の窓口で振り込む際は、「無料だと聞いています。」とお伝えください。

高額な募金をいただいた場合でも、個別にお礼状等をお送りすることはしません、あらかじめご承知おきください。大学生協の被災者支援活動の全体像については、全国大学生協連のホームページ <http://www.univcoop.or.jp/> で随時ご報告いたします。

阪神大震災のときは、学生用の仮設寮を作るための募金を全国で行い、100円・500円から数

十万円単位まで幅広い額でご協力をいただき、総額で1億円を超える募金になりました。これに倍するご協力をいただければ幸いです。

2011年5月20日

全国大学生生活協同組合連合会

専務理事 和田 寿昭
学生委員長 北橋 達也

このお願いは、多くの方にお届けすることを優先し、一律にお届けさせていただきました。このたびの震災でご家族等が亡くなった方、さまざまな被害を受けられた方に届いた場合はどうかご容赦ください。

お取引先様にもお送りさせていただきましたが、震災により深刻な影響等を受けておいでの会社様等もあろうと思います。可能な会社様のみ、できる範囲のご協力をいただただけで十分ですので、ご無理いただきませんよう。

また、この募金は、法人税における「寄附金控除」の対象にはなりません。（寄附金控除の対象になるのは、「最終的に国や地方自治体に支払われ分配される義援金等」に限られるためです。）法人にとって損金になるかどうかは、個別の事情によって異なりますので、税理士様等にご確認ください。

すでにお見舞金をおくりした方から寄せられたメッセージをご紹介します

（一部、文章の省略・書き換え等を行っています）

父の勤務先が津波の直撃を受け、父を亡くしました。父は最後まで人々を避難させようと必死だったとのこと。皆様ありがとうございます。（お父様を亡くされた方より）

1円1円大切にに使わせていただきます。ありがとうございます。（お父様を亡くされた方より）

感謝の気持ちでいっぱいです。私が逆の立場になったときや、これからの人生で恩返しをしたいです。私の場合がこのタイミングただけで、誰もが通る道だと思います。後悔しないように、常に親や身内を大切に思い、孝行してほしいです。（お母様を亡くされた方より）

私は今回の津波で母を亡くしました。最近、火葬と葬儀を無事に済ませることができました。私は今、母に代わって祖母の介護の手伝いをしに、地元と大学を行き来しようか考えています。いつまでも悲嘆に暮れていては母の供養にならないと思い、これから自分が何をしていくか考え始めたところです。このお見舞金は、介護の手伝いや、地元に向かう交通費に使いたいと考えています。地元までの往復に1万円以上かかります。皆さんの心遣い、本当にありがとうございました。（お母様を亡くされた方より）

非常にありがたい。ただ、父の名前を書くたびに、本当に死んだのだと思い知らされる。みなさん、親がいるなら大切にしてください。（お父様を亡くされた方より）